

【報道関係各位】

定点調査レポート
2013年 新成人に関する調査

- これからの日本の政治に「期待できる」24%、「期待できない」76%
- “自分の未来”は「明るい」と思う51%、昨年より14ポイント減
- 将来希望する職業、1位「公務員」、2位「技術系の会社員」
- 新成人の交友実態 友達の数「10～20人未満」が21%で最多、一方で「友達がいない」人も12%

2013年1月8日
株式会社マクロミル

インターネット調査会社の株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表：杉本哲哉）は、2013年に成人式を迎える全国の新成人を対象に、「2013年 新成人に関する調査」を実施いたしました。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は2012年12月20日（木）～12月21日（金）。有効回答数は500名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 これからの日本の政治に「期待できる」24%、「期待できない」76%

2013年に成人式を迎える新成人に、これからの日本の政治にどの程度期待できるか尋ねたところ、「期待できる（期待できる+どちらかといえば期待できる）」と回答した人は24%となりました。一方、「期待できない（期待できない+どちらかといえば期待できない）」と回答した人は76%でした。

これからの日本の政治に期待できると回答した理由を具体的に尋ねたところ、「政権交代したから」「経済政策が期待できるから」といった意見が散見されました。また、期待できないと回答した理由としては、「総理大臣が次々と代わるから」「政党が乱立し過ぎているから」「公約を実現することができないから」という意見が多々見受けられました。

【2】 “自分の未来”は「明るい」と思う51%、昨年より14ポイント減

「自分の未来」についてどう考えているか尋ねたところ、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば明るいと思う）」と回答した人は51%となりました。一方、「暗いと思う（暗いと思う+どちらかといえば暗いと思う）」と回答した人は49%でした。2012年の調査と比較すると、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は14ポイント下降しています。

【3】 将来希望する職業、1位「公務員」、2位「技術系の会社員」

学生、パート・アルバイト、無職の人に、将来どのような職業に就きたいか尋ねたところ、「公務員」が22%、次いで「会社員（技術系）」11%、「会社員（サービス系）」8%、「会社員（事務系）」が5%となりました。具体的な職業を尋ねると、公務員では「地方公務員」や「教員」を希望する人が多く見受けられました。

【4】 新成人の交友実態 友達の数「10～20人未満」が21%で最多、一方で「友達がいない」人も12%

ゲームや携帯電話世代といわれる今年の新成人に、交友関係について聞いてみました。友達の数について尋ねたところ、「10～20人未満」が21%で最も多くなりました。しかし一方で、全体の1割は友達がおらず、友達がいてもその2割には親友がいないという状況から、親密な人間関係構築の困難さがうかがえます。

▼ 詳細レポート：http://www.macromill.com/r_data/20130108shinseijin/index.html

「2013年 新成人に関する調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	平成4年～平成5年生まれの男女のうち、2013年成人式の参加対象となる人（マクロミルモニタ会員）
有効回答数:	合計500サンプル（男性250サンプル、女性250サンプル）
調査日時:	2012年12月20日（木）～12月21日（金）
調査機関:	株式会社マクロミル

I. 「未来」について

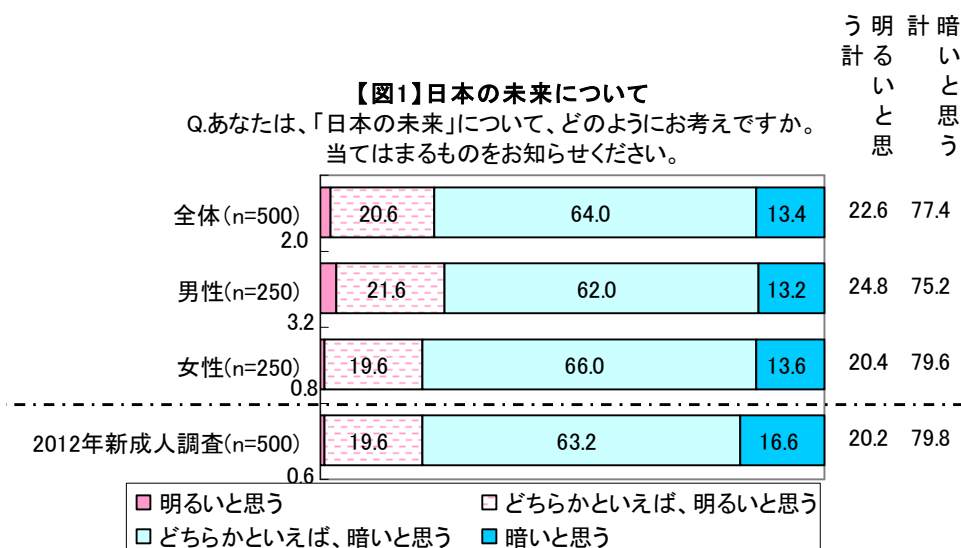
■ “日本の未来”は「明るい」と思う23%、「暗い」と思う77%
明るいと思う人は、昨年に比べ概ね横ばいの推移

「日本の未来」についてどう考えているか尋ねたところ、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は23%となりました。一方、「暗いと思う（暗いと思う+どちらかといえば、暗いと思う）」と回答した人は77%でした。【図1】

日本の未来について「明るいと思う」理由を具体的に尋ねると、「政権交代したから」「気持ちの持ち方次第」といったコメントが散見されました。【図1_1】

一方、日本の未来について「暗いと思う」理由を具体的に尋ねると、「不景気だから」「国内問題が多過ぎるから」「国の借金が多過ぎるから」といったコメントが見受けられました。【図1_2】

2012年の調査と比較すると、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は2ポイント上昇と概ね横ばいの推移となっています。



【図1.1】「日本の未来」が明るいと思う理由(自由回答一部抜粋)

あなたが、「日本の未来」について、明るいとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
戦争をしない限りは明るくなると思う。	男性
政権が交代してから、日経平均が10000円台になったり、円安ドル高になったりしてきたから。	男性
自民党はメタンハイドレードの開発の意思を表明しているので、日本は将来的に資源大国としても国際社会で影響力を強めていくと思う。	男性
これ以上暗くなることはないと思うし、これからまた発展していくと信じているから。	男性
問題が山積みだが、今ある政党の数々にまだ希望が持てるし、様々な問題が浮上してきた今、やっという方向へと進んできたように思うから。	女性
不景気だとか言ってるけど、まだまだ頑張っている人たちはたくさんいる。新政権にも期待。	女性
日本は日々成長、人の思いやりがあるから。	女性
日本の政治はまだまだ改善しなければならないところが多くて必ずしも未来は明るいとは言い切れないが、それに対してちゃんと自分の意見を持った若者もいるので暗くはないと思うから。	女性
丁度政権が自民党に戻ったところなので、これからの政策次第では明るくなっていくと思う。でも私達国民も、政治家にまかせっきりにするのではなく、最低限の時事問題には関心を持たなければ、あまり変わらないのではないかも思う。	女性
政治や景気は不安だが、一人一人が意識すれば変えていける点がたくさんあると思うから。	女性

【図1.2】「日本の未来」が暗いと思う理由(自由回答一部抜粋)

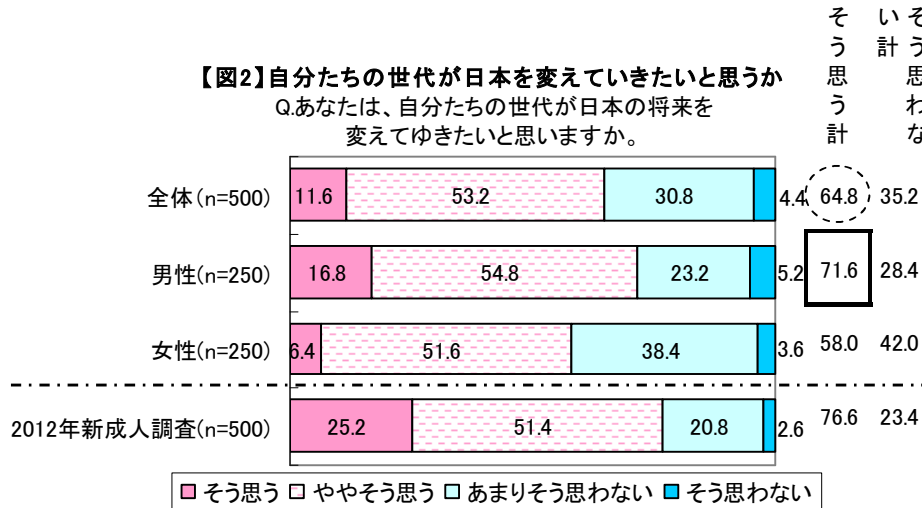
あなたが、「日本の未来」について、暗いとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
不景気も終わりそうもなく、人々の物事に対するモラルなども変わっていつてしまっている。	男性
不景気のため大学卒業生などの内定や就職がとれないため。	男性
日本は輸出で成り立っているのに円高で輸出が成り立たなくなっているから。	男性
日本の現代の政治は、理想だけを掲げ、なかなか実行に移そうとしないから。	男性
中国、韓国の侵略行為に対し日本国政府は事を荒立てたくないばかりで対処をしない。	男性
政治の先行きが見えないから。社会保障は削られ、所得税を増やすなど社会的弱者には厳しい世の中になりすべての国民が安心して暮らせるようにはならないと思うから。	男性
政権が変わった直後のためなんともいえないが、景気が改善する見込みはないと思われるため。また、自分が志向している業界について言うと、技術職を重用しない日本の体質は海外への技術流入を進めている現実があるから。	男性
国債をとっても多く抱えているし、少子高齢化も歯止めがかからず、年金問題も解決する兆しがないため、経済のバランスがとれなく、対外関係も悪化すると考えられるから。	男性
原発停止による電気料金の高騰、資源のなさ、企業の海外流出(二次サプライヤまでもが海外に流出している)などいろいろなこと特に、産業にとって良くないことが多い。	男性
問題がありすぎる。代表もコロコロ変わるし、国民のための政治とか言いながら、増税するという政策は全く納得できない。言っていることとやっていることが矛盾しては、日本の未来は暗いままである。	女性
怖い事件や事故、税金や年金などのお金の問題や、原発や外国との関係など不安なことが多すぎるから。	女性
犯罪の増加・就職困難・エネルギー問題など社会全体的に日本の未来はどちらかといえば、暗い。	女性
赤字国債が大量に発行されていて、ギリシャのように破綻してしまう日も近いのではないかと思う。韓国中国との関係も危ういし、経済競争でも負けているのでここから立ち直れるかどうか不安だから。	女性
若い世代を育てる気の無い社会、政治、就職難、少子化であるのに子育て支援が充実していない、常識の無い社会人が多すぎるように感じる、など。日本の未来を担う若い世代が頼りないことと、それを育てようとしていない上の世代はもっと頼りないこと。	女性
私が生まれてからの日本は右肩下がりに続いていると思っていて、それが延長されるだけだと思った。	女性
国政に関してやるが多すぎる。それなのに資金がない。さらに高齢化は進んでいるし、支出と借金ばかり増えていく。国のリーダーが誰になっても、日本は問題を抱えすぎているので、解決できない。解決する前にリーダーが変わってしまう。	女性
いつまでも大量消費、大量生産の時代だと思ってよいのだろうか。技術の面においても、韓国などのアジア勢に追いつかれ、彼らの製品は今や品質も高いものが多い。また外交問題も非常に不安。効果的な策を実行できない政治家もそうだが、それをただ批判するだけの私を含む国民の態度にも不安を感じる。	女性

■ 自分たちの世代が“日本を変えてゆきたい”と思う人は65%、昨年比12ポイント下降

自分たちの世代が日本を変えてゆきたいと思うか尋ねたところ、「そう思う（そう思う+ややそう思う）」と回答した人は65%となりました。一方、「そう思わない（そう思わない+あまりそう思わない）」と回答した人は35%でした。男女別にみると、男性で「そう思う」と回答した人は72%と女性に比べ14ポイント高くなっています。2012年の調査と比較すると、「そう思う」と回答した人は12ポイント下降しています。【図2】

日本をどのように変えてゆきたいか、日本はどうあるべきかを具体的に尋ねると、「自分が将来就く仕事で日本に貢献したい」「国民みんなで支え合う」「地元でがんばりたい」「個人個人が日本のために何ができるか考えるべき」など様々なコメントが寄せられました。【図2_1】



【図2.1】日本をどのように変えていききたいか、日本はどうあるべきか(自由回答一部抜粋)

Q.あなたはどのように、日本を変えてゆきたいと思いますか。日本はどうあるべきか、自身で考えていること等ご自由にお書きください。

コメント	性別
僕は政治家になって日本を変えたいとかそのようなことは考えていません。僕自身研究職のような職業のほうが向いているのでそちらの方面で将来は日本に貢献したいと思っています。これからの日本は、やはり世界全体から必要とされるような技術大国にならなければならないと思います。今は中国や韓国などの国勢で負けていると思うので、なおのことどうにかしなければなりません。	男性
これからの日本は皆で支え合っていく社会であるべきだと思います。貧富の差はあるにせよ、自分が追い詰められるほどの生活をしている人を無くしていきたいと思っています。また、貧困の背景には制度の矛盾などの生きづらさがあるので、あらゆる多様性を受け入れていける(例えば、セクシュアルマイノリティ・既卒・主婦 等でも就職できる)社会にしてゆきたいと思っています。	男性
①脱経済第一主義 発展だけが原動力の社会は生きていて苦しい。 ②地域とのつながりが強い社会。江戸時代とまではいかないが、地域が作る縦横無尽なつながりは人間の心を癒し、社会を安定させると思う。	男性
日本はもっと国民全員が自分の意見をきちんと発表できるようにならなければいけないと思う。過度な完璧主義や何でも多数決で決めようとする風習を見直して、小中学校のころから個人プレゼンの練習をする場を多く設けるべきだと思う。	女性
東日本大震災の直後は多くの人が助け合い、ささえあってきた。日本人の温かさが本当に現れていたように思う。その温かさを私たちはずっと忘れるべきではないと思う。	女性
積極性をもって行動する。日本人は責任感が強いと思う。そのため大切な決めごとになると責任が自分に行くのを恐れ、周りに託している気がしてしまう。一人一人が物事や周りを大切に思うべき。まずは私一人からそう思っていきたい。	女性
強いリーダーシップを持ったヒトが総理になり、国を引っ張っていくべきだと思うが、そもそも今の政治家にはそのような人はいない。「一身独立し、一国独立す」というように、地方分権で、各地方を盛り上げていくことから始めなければならないと思う。そのためにも地元に戻り、地元の県政に携わっていきたいと思う。	女性
いわゆるゆとり世代と言われているけど、変えて行かないや行けない。次世代により良い環境を引き継ぐ為には、関係ないとは思わず一人一人が今の日本の現状に目をやり個々で日本の為に出来る事を見つけるべき。	女性

■ これからの日本の政治に「期待できる」24%、「期待できない」76%

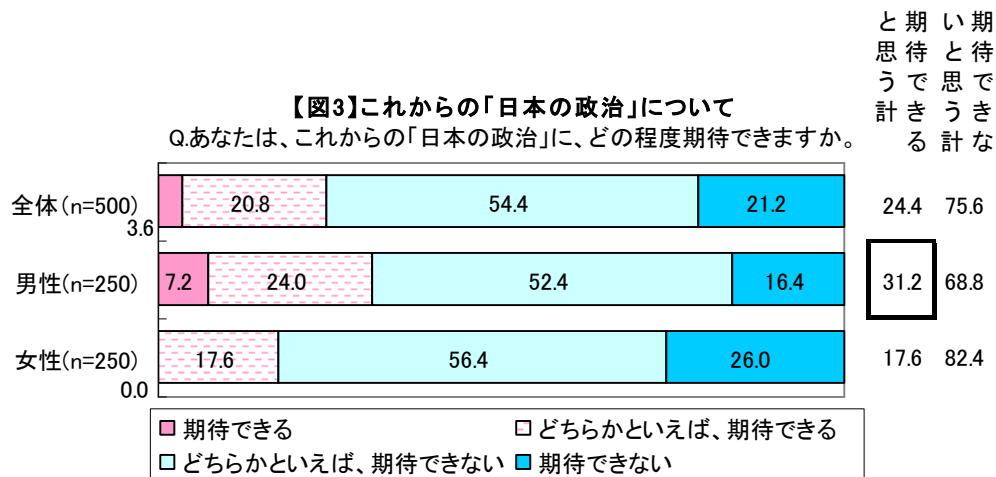
これからの日本の政治にどの程度期待できるか尋ねたところ、「期待できる（期待できる+どちらかといえば、期待できる）」と回答した人は24%となりました。一方、「期待できない（期待できない+どちらかといえば、期待できない）」と回答した人は76%でした。

男女別にみると、男性で「期待できる」と回答した人は31%と女性に比べ14ポイント高くなっています。

【図3】

これからの日本の政治に期待できると回答した理由を具体的に尋ねたところ、「政権交代したから」「経済政策が期待できるから」といった意見が散見されました。【図3_1】

また、これからの日本の政治に期待できないと回答した理由としては、「総理大臣が次々と代わるから」「政党が乱立し過ぎているから」「公約を実現することができないから」といった意見が多々見受けられました。【図3_2】



【図3.1】これからの「日本の政治」が期待できると思う理由(自由回答一部抜粋)

Q.あなたが、これからの「日本の政治」が期待できるとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
復興が進むと思った。	男性
誰が政権をするかでなく、自分たちがどんなアプローチを政治に対して行なっていくかが重要だということに気づきはじめてから。	男性
政治経験が長い自民党が政権を取ったことで、経済や外交を立て直してくれるのではないかと期待しているから。	男性
今回の総選挙の結果から、国民が情報を鵜呑みにせず、取捨選択をできるようになってきたと思われるから。また、過去の情報から自民党の経済政策には期待ができるから。	男性
増税が決まっているので、その方が絶対国のためになると思うので良いと思う。	女性
首相がすぐに変ってしまったり、税金の無駄遣いをしていたり、天下り問題など、改善すべき点は多々あるが、日本の政治は悪く言われすぎていると思う。国民は、一生懸命やっている人たちにヤジを飛ばしているだけにすぎないと思う。私は期待しているから。	女性
自民→民主→自民へと政権交代したことによって政治家たちに多少は緊張感が生まれたと思うから。また、日本維新の会も支持する人が多いので自民党、民主党に緊張が生まれたから。	女性
私にはまだ選挙権がないが、今回の選挙で大幅に国民の考え方が変わったことが分かったこと、そして比較的若い政治家が当選したことから今までの中途半端な政治から抜け出していけるのではないかとと思うから。	女性
まずは国民が期待をかけていなくては始まらないし意味がないと思う。国民全員の希望を通すことが不可能なのは当然のこと。だから、投票で総理が決まった以上、国民も責任を持って政策を見守り支えるべき。批判するばかりでは先に進まず、未来も期待できないと思う。	女性

【図3.2】これからの「日本の政治」が期待できないと思う理由(自由回答一部抜粋)

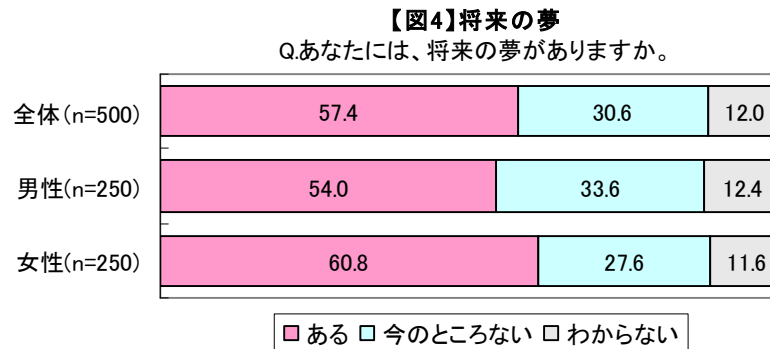
Q.あなたが、これからの「日本の政治」が期待できないとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
与党がすぐ変わるし、首相もすぐ変わる。さらに公約を実現できない政党が多いから。	男性
有言実行する議員が、何人居るのだろうか？周りに流されて、適当に議員を務めている人が多すぎる。	男性
誰も決断力を持った人がおらず、優柔不断だから。	男性
他党の揚げ足を取るばかりで、国民の目線に立った活動が見られないから。	男性
選挙のたびに政権が代わるような、不安定なシーソーゲームしか想像できないから。	男性
政治家は有権者の人気取りの政策しか行わないし、それを支持する有権者がいるから。	男性
消費税を上げると言っており、国民の負担がますます増えるのに、国の赤字が一向に減らないため。	男性
原発の問題を始めとした将来のエネルギー問題など解決すべき問題が数多くあるのに全然前に進まないから。	男性
間違いなく日本の政治は当分変わらないだろうと思います。政治家が悪いというよりは、政治や日本の社会情勢に興味を持つとうしない未来の日本を担うはずの若者に期待できないと思うからです。	男性
老人ばかりがうだうだ会議しているようにしか見えない。若い人も選挙以外の方法で口出しできるようにして欲しい。	女性
与党と野党の連携がうまくいっていないから。	女性
問題だらけの日本を引っ張ってってくれるような絶対的なリーダーのような存在の人がいないから。	女性
本当は期待したいが、ころころと首相が交代したり、不祥事を起こす政治家がいたりしたので、「日本の政治」への不信がある。政権がまた交代したからといって、何かすぐに良いことがあるとは思えない。	女性
総理大臣が次から次へと変わっているし、政党のマニフェストも選挙のときのパフォーマンスでしかないものもあるので信じられない。また決断力、リーダーシップなども感じられない。	女性
政界がひとつにならなければ、日本は変えられない。誰が総理になっても結局一緒。	女性
自分がまず政治についてあまり理解できていない。国民の中でも政治を理解できていない人は多くいるのに、一部の人が進めて行く政治に不安を覚えている。	女性
国民全体も政府に協力しないと日本はよくなりえないと思うし、国民が政治にあまり関心がないと思うので国民の意識をあげないとよくなりえないと思う。	女性
たびたび変わる政権で、諸外国に与えるイメージが良いとは言えないと思うから。また、国内の政権争いでも日本の現状を無視して口先だけでよいことをいい、実際に与党になったら好き勝手な行政を行っているから。政治家たちが真剣に日本の現状について考えているのか多に疑問です。	女性

■ 2013 年の新成人、約 6 割は「将来の夢がある」

今年成人式を迎える新成人に「将来の夢」があるかを尋ねたところ、将来の夢が「ある」と回答した人は 57%、「今のところない」と回答した人は 31%、「わからない」と回答した人は 12%でした。【図 4】

また、「将来の夢」について具体的に尋ねたところ、‘仕事（職業）’に関する夢の内容が多く挙がっていました。それ以外では‘親孝行したい’‘結婚して子どもを産むこと’‘幸せな家庭を築くこと’といったコメントがありました。【図 4.1】



【図4.1】将来の夢（自由回答一部抜粋）

Q.あなたの将来の夢は何ですか。できるだけ具体的にお知らせください。

コメント	性別
物理学の研究者になること。特に、素粒子論や宇宙論を専門とする理論物理学者。また、趣味の音楽も続けたい。	男性
武道関係の仕事につく。刀に関係する職人になる。	男性
通信・インフラ関係のシステムエンジニアの職に就きたい。仕事を趣味にできるような働き方をしたい。	男性
中学校の理科の教師になること。	男性
地方公務員になりたい。安定しているから。	男性
大学教授か県知事になる。	男性
親元から離れ、一定の収入を得ながら、自分の好きなことに没頭すること。	男性
就職先のバス会社で、整備主任となり、さらに営業所の整備を統括する立場になる。家庭をもつかどうかはわからないが、人間的に円熟する。	男性
自分の生まれた土地で医師になること。	男性
今までよりも真面目に生活して親孝行をする事。就職先でそれなりの地位を築いて金銭の心配なく生活をする事。	男性
プロスポーツチームを作る、経営、スポーツクラブを作る、経営。	男性
アンドロイドのゲームプログラマーになって、現在あるような大手のゲーム会社に就職、そして名をあげる事。	男性
歴史博物館の学芸員になること。	女性
薬剤師の国家資格をとって薬剤師として働き、社会に貢献すること。また、幸せな家庭を築くこと。	女性
娘が成長したら旦那と3人で毎年家族旅行に行く！	女性
保育士の資格を取り、子どもと関わる仕事がしたい。今、視野に入れているのは児童養護施設。	女性
大学院に進学し、その後、生命科学系の分野で研究者になること。	女性
大きすぎない企業に正社員として就職し、生活できるだけの給料をもらう。あるいは、何か専門の資格を取得し、職に困らないようにする。	女性
親孝行したい、じいちゃんばあちゃんにひ孫をみせたい。	女性
出版社に就職し、雑誌をつくること。早期に結婚出産し、現場復帰。	女性
社会福祉士の国家資格を取って、公務員で働くかスクールソーシャルワーカーの仕事をしたい。	女性
自然を守る事。エコツーリズムやグリーンツーリズムで地域を活性化させること。	女性
国家公務員試験に合格して、文部科学省に勤めることです。	女性
公務員になること。特にまちづくり関連の仕事をしたい。	女性
看護師免許をとって、大きな病院で5、6年間働いて、結婚して、地元のクリニックでパートの看護師として働く。	女性
パタンナーになって企業に就職し、ゆくゆくはキッズやマタニティー服のブランドを立ち上げたい。	女性
DTPオペレーターとしてたくさんの仕事をする事。好きな人と結婚して幸せな家庭をつくること。	女性

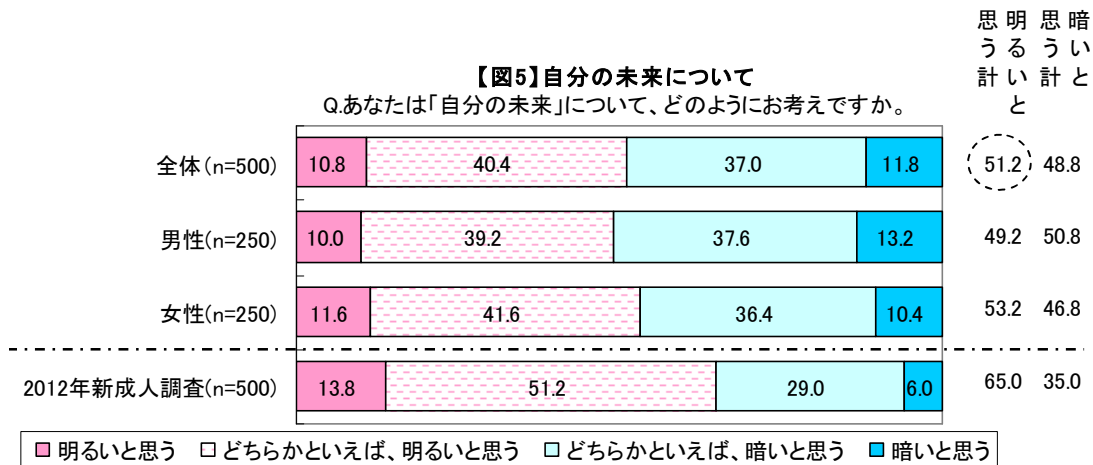
■ “自分の未来”は「明るい」と思う51%、昨年より14ポイント減

「自分の未来」についてどう考えているか尋ねたところ、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は51%となりました。一方、「暗いと思う（暗いと思う+どちらかといえば、暗いと思う）」と回答した人は49%でした。【図5】

自分の未来について「明るいと思う」理由を具体的に尋ねると、「気持ちの持ち方次第」「目標に向かって努力しているから」などのコメントがありました。【図5_1】

一方、自分の未来について「暗いと思う」理由を具体的に尋ねると、「就職できるかわからないから」「これからの社会も暗そうだから」といったコメントが見受けられました。【図5_2】

2012年の調査と比較すると、「明るいと思う（明るいと思う+どちらかといえば、明るいと思う）」と回答した人は14ポイント下降しています。



【図5.1】「自分の未来」が明るいと思う理由(自由回答一部抜粋)

Q.あなたが、「自分の未来」について、明るいとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

コメント	性別
様々なことに興味関心を持ち続けていれば、人生はずばらしいものになると思っているから。	男性
僕は現在大学に通いながら日々ハードな毎日を送っているほうだと思います。この今現在の努力が将来身を結ぶと信じているので明るい将来になると思います。	男性
就職するのが困難と言われていた数年前に比べれば就職率も上がり、自分の希望の職種からの求人が出ていたりするから。	男性
自分は日本に住んでいて幸福な方だし、経済的にもさほど困窮していない。自分よりつらい人はいっぱいいるから。	男性
夢にむかって勉強して、現実味が湧いてきたし、結果を少しずつ残せてきているから。	女性
就職も決まっており、優しい恋人や友達や家族に囲まれているから。毎日幸せだと感じているから。	女性
自分の就きたい職業への就職率には大きな期待はできないが、それでも今のところやりたいことは自分なりに見えていて、かつそれに向かっていけるような勉強を学生のうちにできていると思うから。	女性
研究者としての能力があるかどうかはまだわからないが、やりたいことがまだハッキリしているし、意欲もあるから、まあ明るいほうかなと思う。	女性

【図5.2】「自分の未来」が暗いと思う理由(自由回答一部抜粋)

Q.あなたが、「自分の未来」について、暗いとお答えになった理由を具体的にお知らせください。

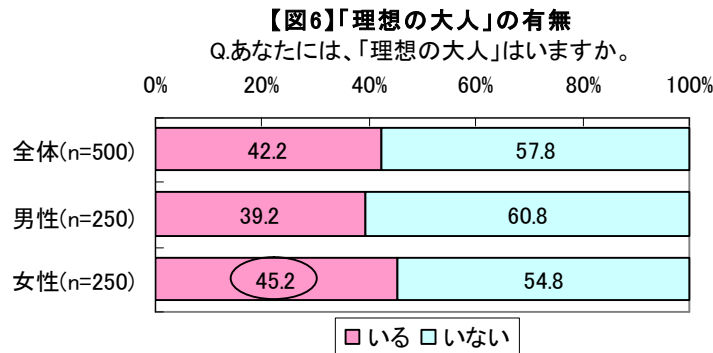
コメント	性別
将来自分に合った仕事につけるかと思うと不安だから。	男性
心の病気を患っており、定職はおろかアルバイトすらまともにできていない。	男性
現在の社会が暗いと思うし、これからも暗いままだと思うから。経済面でも今の日本では未来がなさそうだから。	男性
明確な夢がないままここまで生きてきてしまった。趣味や好きなことには熱中しているが、それは社会人として評価されることではないので就職活動にも生かせない。よって自分にとって良い企業に就職できると思えない。	女性
しかも恋人もいないので、自分が将来結婚できるかどうか不安である。家庭は持ちたいが、相手が見つからない。怖い。	女性
日本経済は不景気であるから。また、現在はグローバル化が進んでいて就職が大変厳しい。英語も得意ではないし、勉強する気もない。どちらかといえば流れに逆らう考えを持つ私が社会に受け入れられることも、なじむことも難しいかもしれないから。	女性
就職できるかわからないし、就職できたとしても卒業と同時に奨学金という借金の返済が始まるから。希望が持てない。	女性
一人っ子なので、親や祖父母の介護をきちんとやっていけるのか不安。就職できるのか分らないし、福祉サービスを受ける余裕があるか、またサービスの空きがあるのかが心配。	女性

II. 「理想像」について

■ 4割強の新成人に、理想の大人が「いる」

「理想の大人」がいるか尋ねたところ、「いる」と回答した人は42%となりました。

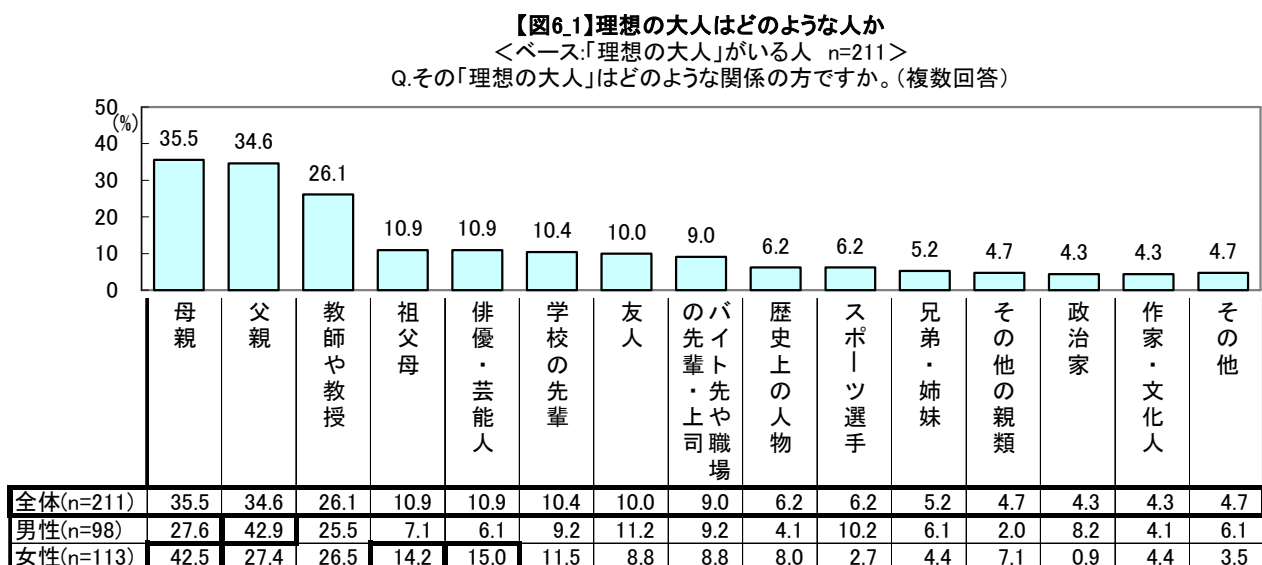
男女別にみると、男性で「いる」と回答した人は39%に対し、女性で「いる」と回答した人は45%と、男性に比べ6ポイント高くなっています。【図6】



■ 理想の大人、男性は「父親」43%、女性は「母親」43%

理想の大人がいると回答した人に、理想の大人はどのような関係の人なのかを尋ねたところ、「母親」が36%、次いで「父親」が35%、「教師や教授」が26%となりました。

男女別にみると、男性では「父親」が43%で最も多く、次いで「母親」が28%、「教師や教授」が26%となっています。一方、女性では「母親」が43%で最も多く、次いで「父親」が27%となっています。男女とも同性の親を理想像とする傾向がみられました。【図6_1】

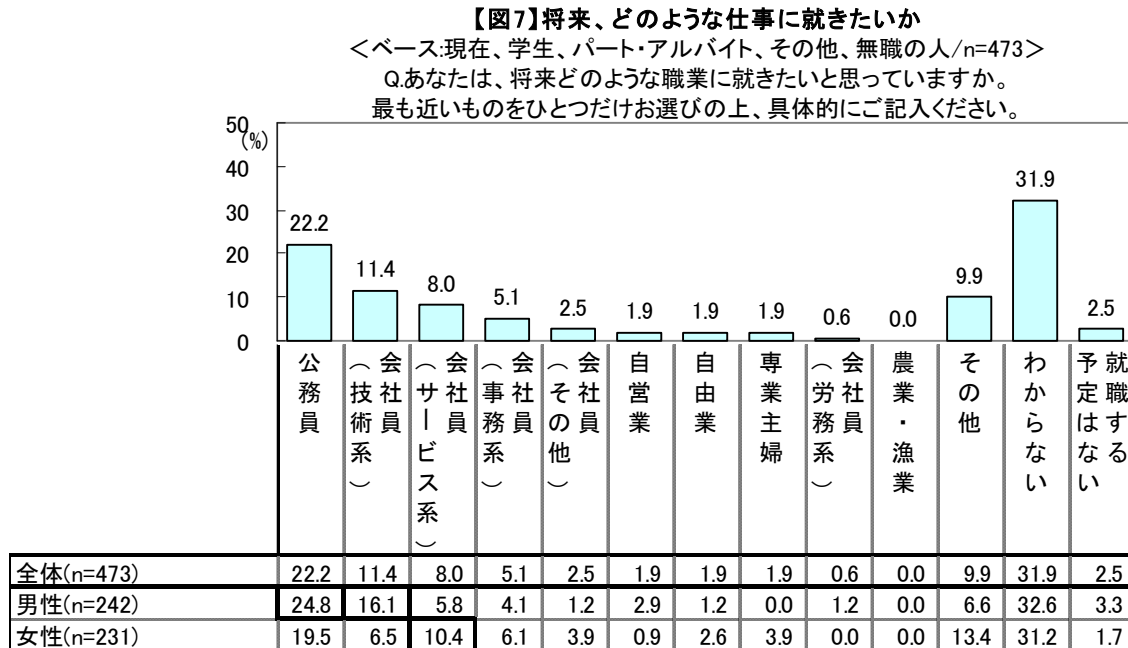


Ⅲ. 「就職」について

■ 将来希望する職業、1位「公務員」、2位「技術系の会社員」

学生、パート・アルバイト、無職の人に、将来どのような職業に就きたいか尋ねたところ、「公務員」が22%、次いで「会社員（技術系）」11%、「会社員（サービス系）」8%、「会社員（事務系）」が5%となりました。

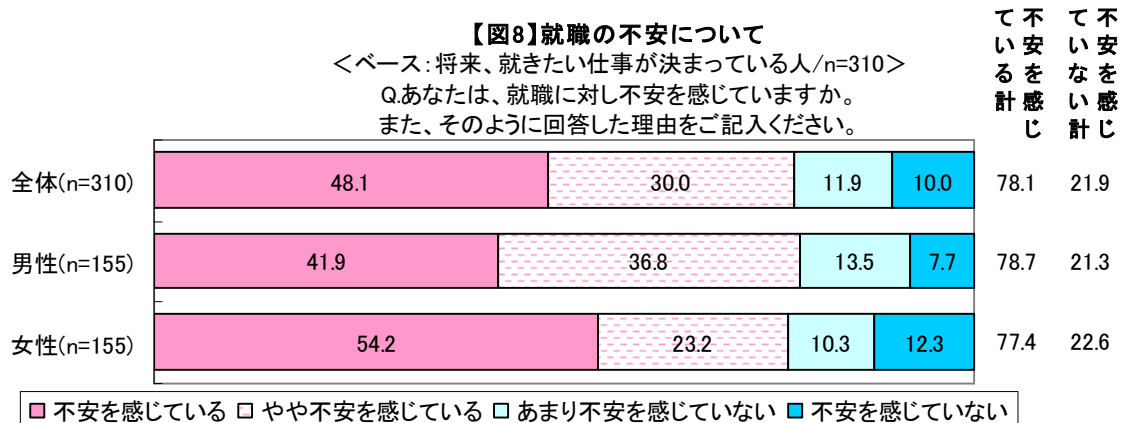
公務員では、「地方公務員」「教員」を希望する人が多いようです。一方、約3割の人がまだ決めかねているようです。【図7】



■ 就職に対して不安を感じている人は78%

就きたい仕事が決まっている人に、就職に対して不安を感じているか尋ねたところ、「不安を感じている（不安を感じている+やや不安を感じている）」と回答した人は78%に達しました。【図8】

なぜ不安を抱いているか尋ねたところ、「先輩たちの苦戦を見ているから」「就職率が低いから」「自分に自信がないから」といったコメントが多々見受けられました。

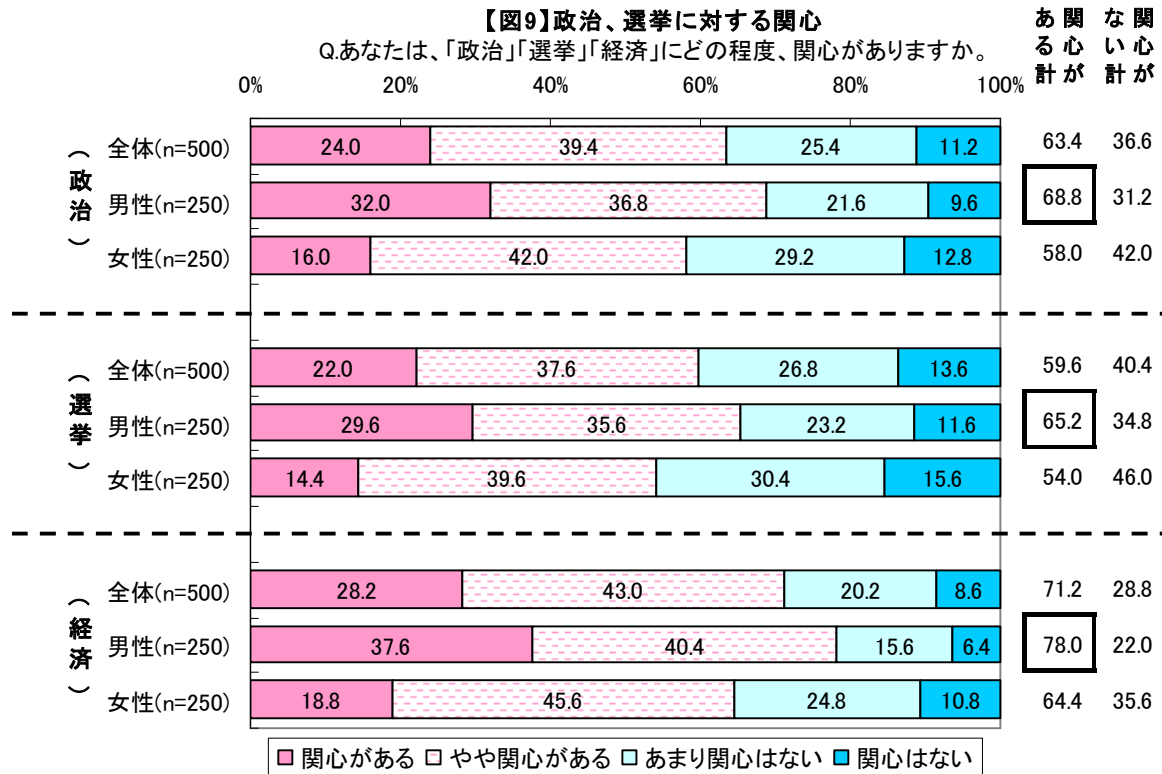


IV. 「関心ごと」について

■ 今年の新成人、63%が「政治」に、71%が「経済」に関心があり

政治・選挙・経済に対する関心を尋ねたところ、政治に対して「関心がある（関心がある+やや関心がある）」と回答した人は63%、選挙に対しては「関心がある」と回答した人は60%となりました。また、経済に対して「関心がある」と回答した人は71%となりました。

男女別にみると、政治・選挙・経済のいずれにおいても、男性は女性に比べ「関心がある」という回答が10ポイント以上高くなっています。【図9】



■ 今年の新成人、6割が「若者の就職率が低いこと」に関心を持っている

関心を持っている国内の政治・経済・社会問題について尋ねたところ、「若者の就職率が低いこと」が60%で最も高く、次いで「増税」が44%、「領土問題」が40%、「少子高齢化」「非正規雇用者の増加」が各々38%となっています。【図10】

【図10】関心を持っている国内の政治・経済・社会問題 (n=500)

Q.あなたが関心を持っている国内の政治・経済・社会問題は何ですか。(複数回答)

順位	関心がある 国内の政治・経済・社会問題	%
1	若者の就職率が低いこと	60.2
2	増税	44.4
3	領土問題	39.6
4	少子高齢化	38.4
5	非正規雇用者の増加	37.6
6	震災地の復興が遅れていること	34.4
7	日本の財政赤字	34.0
8	年金制度に関する問題 原子力発電所に関する諸問題	33.8
10	TPP(環太平洋経済連携協定)	30.2
11	日本の教育水準の低下	24.4
12	防衛、安全保障に関すること	22.6
13	政治家に関する諸問題	22.4
14	円高問題	19.4
15	医療制度に関する問題	19.2
16	沖縄の基地問題	19.0
17	食料自給率に関すること	17.4
18	公務員に関する諸問題	16.8
19	食品や土壌などの放射能汚染に関する問題	15.8
20	環境破壊	14.6
21	サイバー攻撃	14.0
22	日本のGDPの減少(中国に抜かれ世界3位に)	13.2
23	国民間で経済格差の拡大	12.2
24	農業の後継者問題	11.4
25	過疎化問題	10.2
26	株価が低調なこと	9.4
27	地方自治に関すること	9.2
28	企業の法令順守	6.8
-	その他	3.0

■ これからの日本が取り組むべきと思うことは、「景気対策」「雇用対策」が各々66%で最多

これからの日本が取り組むべきと思うことについて尋ねたところ、「景気対策」「雇用対策」が各々66%で最も高く、次いで「年金制度の充実・改善」が52%、「少子化対策」が50%となっています。【図11】

各々回答した理由について尋ねたところ、「景気対策」では‘先進国から信頼を失うから’‘雇用が改善するから’、「雇用対策」では‘このままではフリーター、ニートが増加するから’‘結婚する人が減って少子化が進行するから’、「少子化対策」では‘将来、子どもを産みたいから’‘子どもは国の財産だから’、「外交問題への取り組み」では‘領土問題があるから’、「被災地復興」では‘復興予算は被災地復興に使って欲しいから’‘被災地の人々に早く楽になって欲しいから’といった意見が挙がっています。

【図11】これからの日本が取り組むべきと思うこと (n=500)

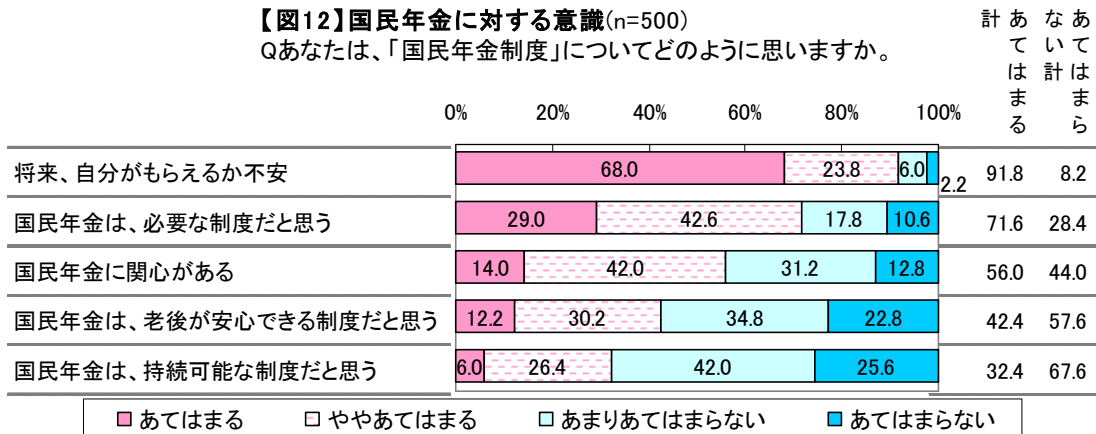
Q.これからの日本が取り組むべきだと思うことは何ですか。(複数回答)

順位	取り組むべきと思うこと	%
1	景気対策	66.2
2	雇用対策	65.6
3	年金制度の充実・改善	52.4
4	少子化対策	50.4
5	外交問題への取り組み	42.8
6	被災地復興	42.0
7	エネルギー問題への取り組み	39.8
8	医療制度の充実・改善	37.8
9	税制度の見直し	35.6
10	教育改革	34.8
11	放射能問題への対策	33.2
12	物価・デフレ対策	33.0
13	防衛・安全保障	29.0
14	中小企業への支援	26.2
15	財政健全化の推進	26.0
16	環境問題への取り組み	25.4
	地方の活性化	
18	格差問題への取り組み	24.4
19	科学技術の振興	24.2
20	行政改革	20.6
21	国際平和への積極的貢献	19.0
22	文化・スポーツの振興	18.8
23	農林水産業対策	17.2
24	治安対策	16.8
25	日本の魅力の海外発信	13.2
26	地方分権の推進	10.8
-	その他	3.6
-	わからない	7.2

V. 「国民年金」について

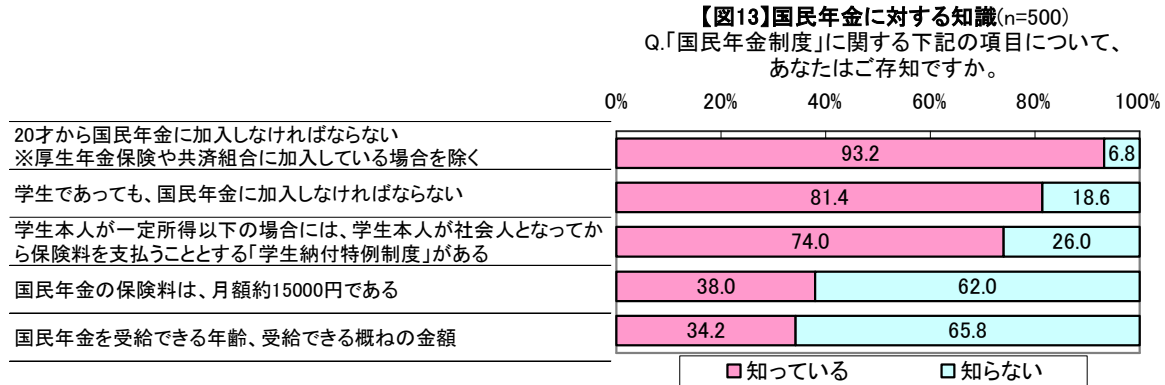
■ 9割以上が、「国民年金は、将来、自分がもらえるか不安」と感じている

国民年金制度についてどのように思っているか尋ねました。「あてはまる計（あてはまる＋ややあてはまる）」でみると、「将来、自分がもらえるか不安」と思っている人は92%、「国民年金は、必要な制度だと思う」は72%となっています。一方、「国民年金は、持続可能な制度だと思う」は32%となっています。今年の新成人は国民年金制度を必要な制度だと思っていますが、持続可能な制度と思っている人は少なく、将来自分がもらえるか不安を抱えているようです。【図12】



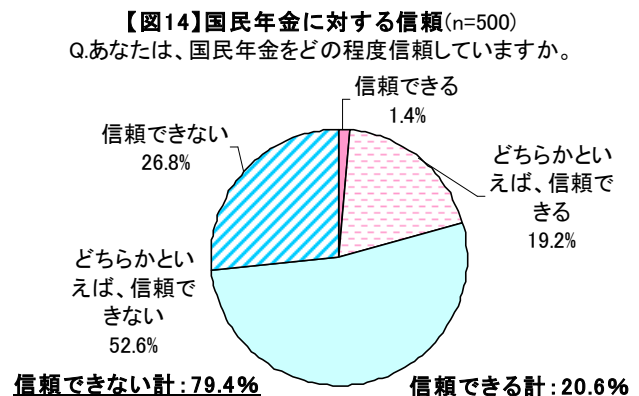
■ 9割以上が「学生であっても20才から加入しなければならない」ことを認知

国民年金制度に関する知識について尋ねたところ、学生であっても20才から加入しなければならないことを9割以上の方が認知していました。一方、月額保険料、受給できる年齢や受給できる概ねの金額に関しては3~4割の認知に留まっています。【図13】



■ 国民年金制度を「信頼できない」人は79%、「信頼できる」人は21%

国民年金をどの程度信頼しているか尋ねたところ、「信頼できる（信頼できる＋どちらかといえば信頼できる）」と回答した人は21%に留まっています。一方、「信頼できない（信頼できない＋どちらかといえば、信頼できない）」と回答した人は79%を占めています。【図14】



VI. 「海外」について

■ 6割強が「海外旅行」「外国語の習得」、4割強が「海外留学」に関心あり

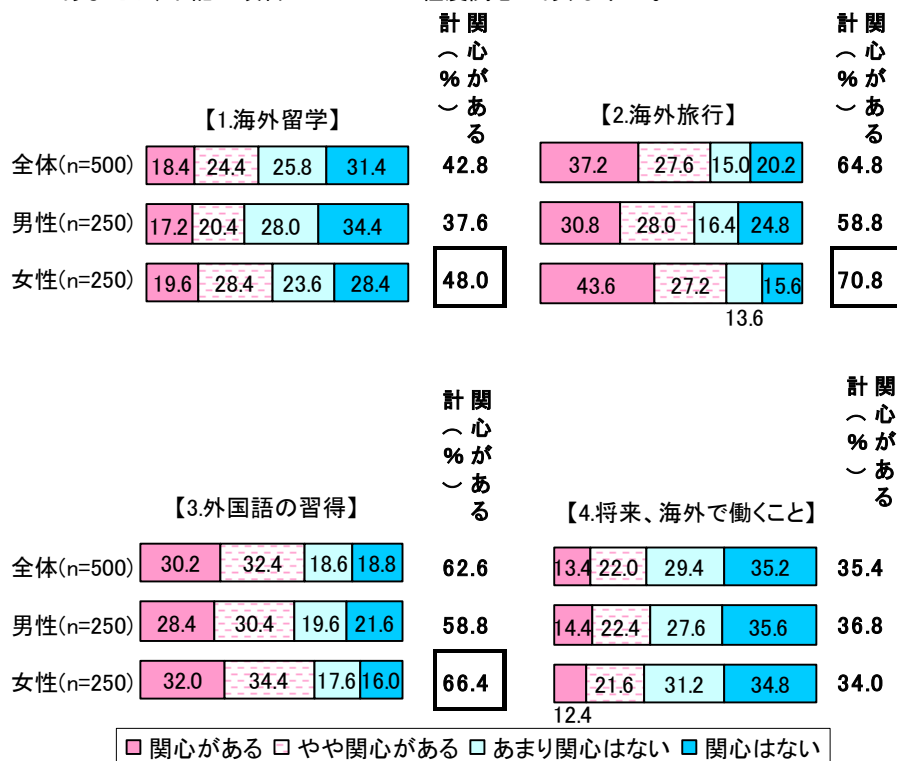
海外について尋ねたところ、「海外旅行」には 65%、「外国語の習得」には 63%、「海外留学」には 43%の人が「関心がある（関心がある+やや関心がある）」と回答しました。

男女別にみると、いずれも女性は男性に比べ関心が高く、「海外旅行」は 12 ポイント、「海外留学」は 10 ポイント、「外国語の習得」は 8 ポイント高くなっています。【図 15】

関心がある留学先では「アメリカ」が 61%でトップ、関心がある旅行先では「フランス」「アメリカ」「イタリア」が各々60%前後で上位を占め、将来海外で働いてみたい国としては「アメリカ」が 53%でトップとなっています。【図 15_1】

【図15】海外に対する関心 (n=500)

Q.あなたは、下記の項目についてどの程度関心がありますか。



【図15.1】関心がある留学先、旅行先、働きたい国ランキング

関心がある「留学先」		
順位	全体(n=214)	(%)
1	アメリカ	60.7
2	イギリス	43.0
3	カナダ	42.5
4	オーストラリア	27.6
5	ドイツ	27.1

関心がある「旅行先」		
順位	全体(n=324)	(%)
1	フランス	60.5
2	アメリカ	59.6
3	イタリア	59.0
4	イギリス	56.2
5	ドイツ	52.5

将来、海外で働くこと		
順位	全体(n=177)	(%)
1	アメリカ	52.5
2	イギリス	28.2
3	ドイツ	23.2
4	フランス	19.2
5	カナダ	16.4

VII. 「交友関係」について

■ 友達の人数「10～20人未満」が21%で最多、一方で「友達がいらない」人も12%

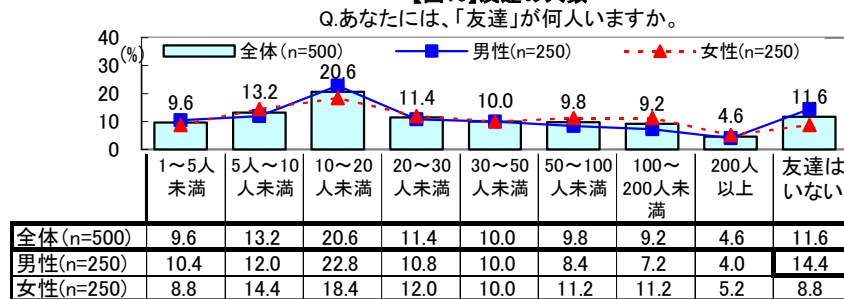
ゲームや携帯電話世代といわれる今年の新成人に、人間関係について聞いてみました。友達の人数について尋ねたところ、「10～20人未満」が21%で最も多くなっています。しかし一方で、「友達はいない」と回答した人も12%となっています。特に男性で「友達はいない」と回答した人は14%と女性に比べ高くなっています。また、男女とも約2割が異性の友達が占めているようです。【図16】

友達がいると回答した人に、親友が何人いるか尋ねたところ、「5人」が19%で最も多くなっています。しかし一方で「親友はいない」と回答した人は22%を占めています。【図17】

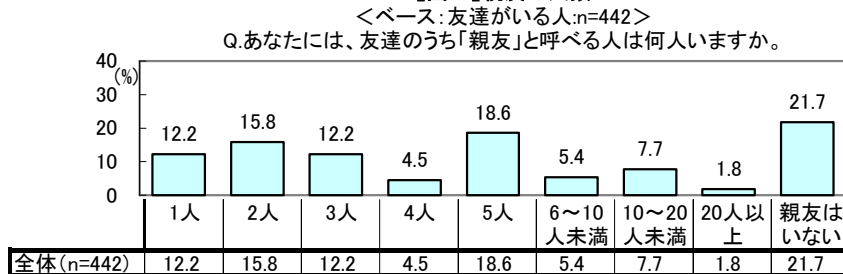
さらに、コミュニケーション別の友達の割合について尋ねたところ、友達のうち「直接会って話すことが多い友達」が66%、「直接会うことは少なく、携帯電話やインターネットなどのメディアを通じてコミュニケーションをとることが多い友達」が25%を占め、直接会うことがある友達が9割を占めています。【図18】

インターネット時代に育ってきた新成人ですが、9割以上の友達とは直接会って会話をしているようです。しかし、全体の1割は友達がおらず、友達がいてもその2割には親友がいらないという状況から、親密な人間関係構築の困難さがうかがえます。

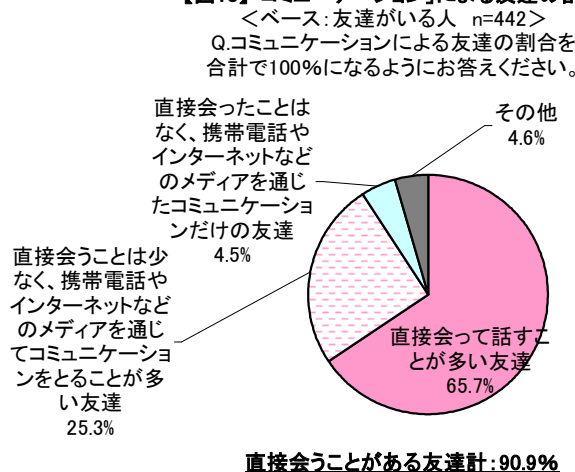
【図16】友達の人数



【図17】親友の人数



【図18】「コミュニケーション」による友達の割合



■ 「何でも話すことができる友達」は、友達の3人に1人

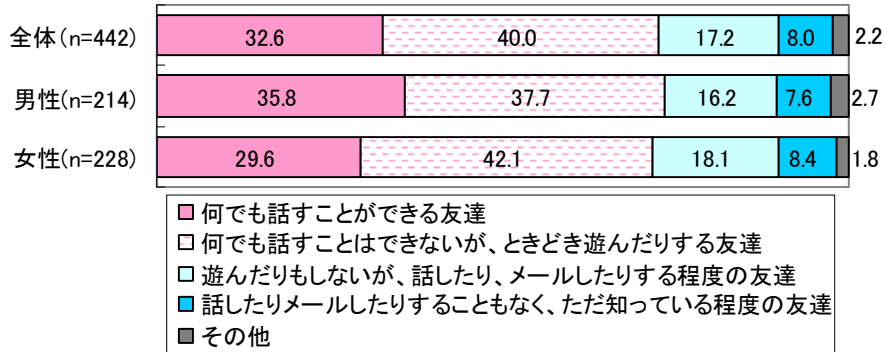
友達がいると回答した人に、付き合い方による友達の割合を尋ねたところ、友達のうち「何でも話すことができる友達」が33%、「何でも話すことはできないが、ときどき遊んだりする友達」が40%となりました。男女別にみると、男性は女性に比べ「何でも話すことができる友達」が36%と6ポイント高くなっており、男性は女性に比べ心を開くことができる友達の占める割合が多いことがわかりました。【図19】

【図19】「付き合い方」による友達の割合

<ベース: 友達がいる人 n=442>

Q.付き合い方による友達の割合を

合計で100%になるようにお答えください。



■ 8割が「狭く深く付き合える友達に欲しい」一方で

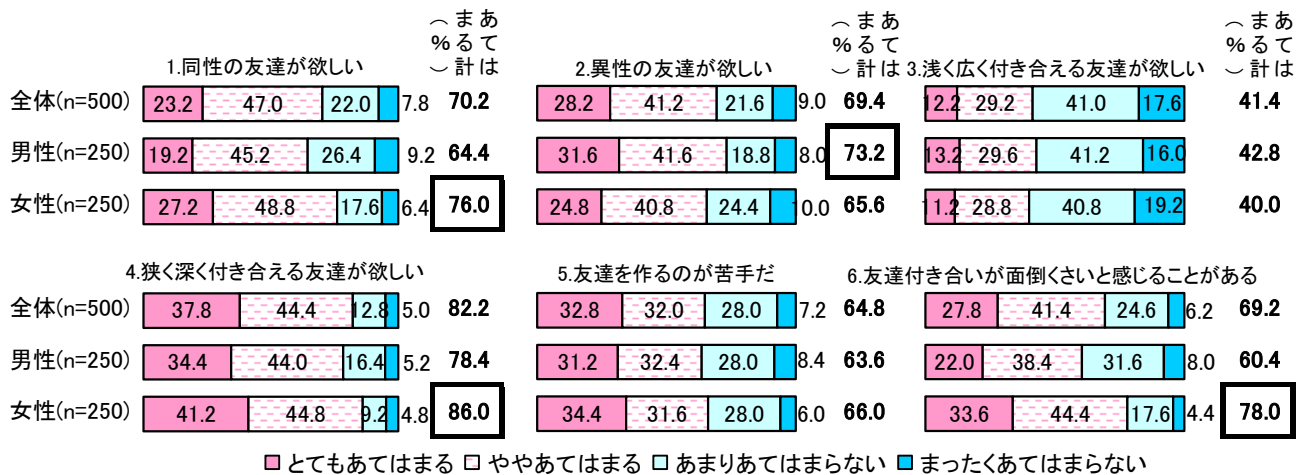
6~7割が「友達を作ることが苦手だ」、「友達付き合いが面倒くさいと感じたことがある」

友達に関する意見について尋ねたところ、「同性の友達が欲しい」「異性の友達が欲しい」いずれもそう思っている人は7割を占めています。しかし男女別にみると、比較的男性は「異性」、女性は「同性」の友達を求めているようです。また、「狭く深く付き合える友達に欲しい」と思っている人は82%と高く、心を開いて話すことができる友達を求めている様子が見えます。

しかし一方で「友達を作ることが苦手だ」と思っている人は65%、「友達付き合いが面倒くさいと感じることがある」人も69%となっていることから、人間関係を構築する技術が不足していることがその一因と推測することができます。【図20】

【図20】友達に対する考え方について

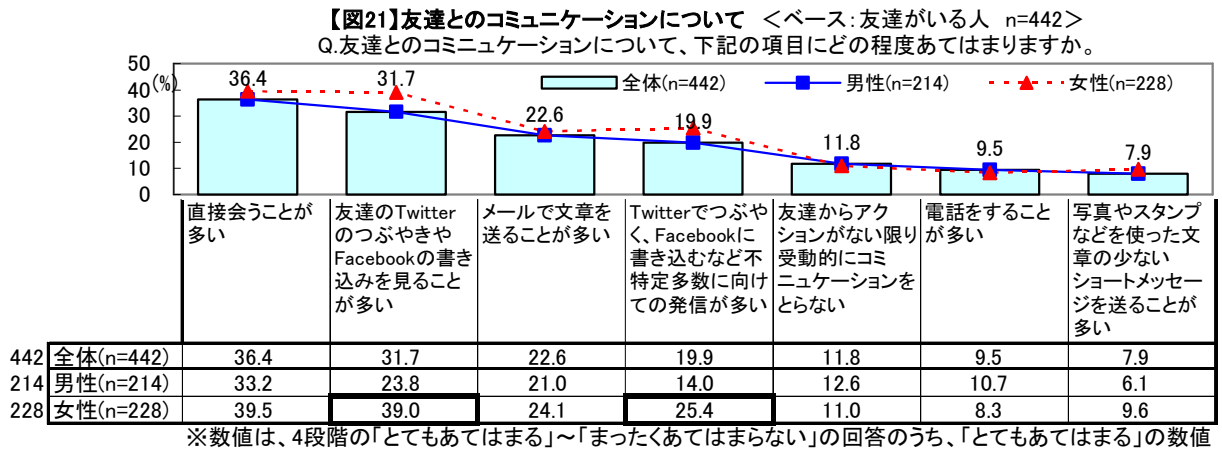
Q.下記の項目について、あなたはどの程度あてはまりますか。



■ 女性は男性に比べ、SNS の利用が活発

友達がいると回答した人に、友達とのコミュニケーションに関する意見について「とてもあてはまる」～「まったくあてはまらない」の4段階で尋ね、「とてもあてはまる」と回答した結果を【図24】に示しました。

男女別にみると、女性は男性に比べ「友達の Twitter のつぶやきや Facebook の書き込みを見ることが多い」「Twitter でつぶやく、Facebook に書き込むなど不特定多数に向けての発信が多い」で10ポイント以上高く、女性は男性に比べSNS利用が盛んな様子が見えます。【図21】



VIII. 「デジタル機器」「SNS」について

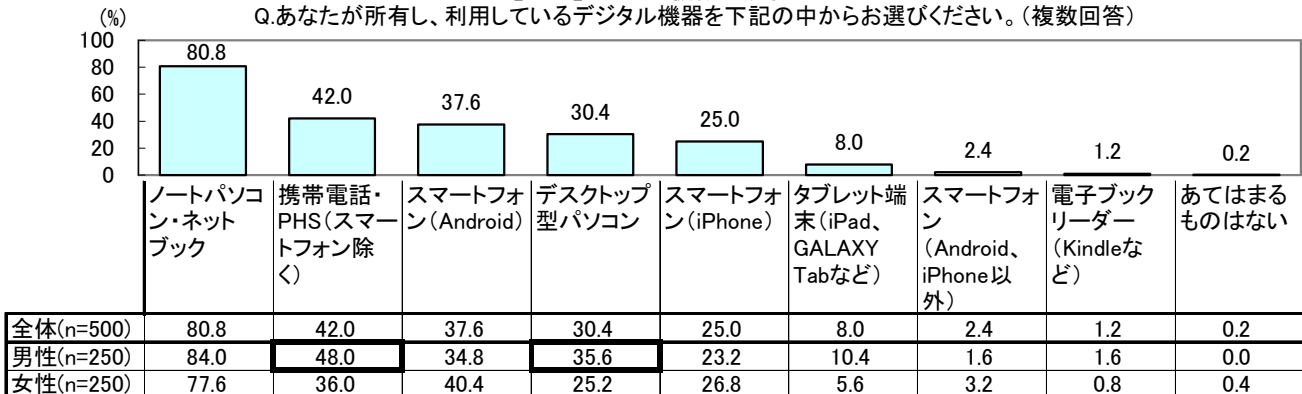
■ 「ノートパソコン・ネットブック」の所有利用率は81%

所有し利用しているデジタル機器について尋ねたところ、「ノートパソコン・ネットブック」が81%、次いで「携帯電話・PHS（スマートフォン除く）」が42%、「スマートフォン（Android）」が38%となりました。

男女別にみると、男性は女性に比べ「携帯電話・PHS（スマートフォン除く）」「デスクトップ型パソコン」の所有利用率が10ポイント以上高くなっています。【図22】

【図22】デジタル機器の所有について

Q.あなたが所有し、利用しているデジタル機器を下記の中からお選びください。（複数回答）



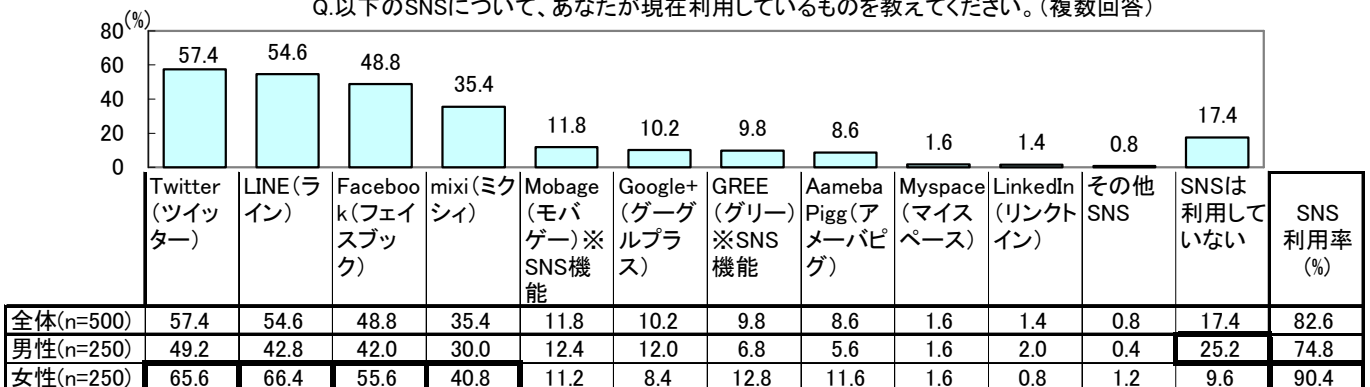
■ SNS利用率は83%、「Twitter」(57%)、「LINE」(55%)、「Facebook」(49%)が上位3

現在利用している SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について尋ねたところ、「Twitter（ツイッター）」が57%で最も高く、次いで「LINE（ライン）」が55%、「Facebook（フェイスブック）」が49%となっており、SNS全体の利用率は83%となっています。

男女別にみると、女性のSNS利用率は90%と男性（75%）に比べ16ポイント高くなっており、上位SNSの利用率はいずれも女性は男性に比べ10ポイント以上高くなっています。【図23】

【図23】SNSの利用について

Q.以下のSNSについて、あなたが現在利用しているものを教えてください。（複数回答）



IX. その他（「20歳になって嬉しいと思うこと」「消費、男女観、結婚観、人生観」）

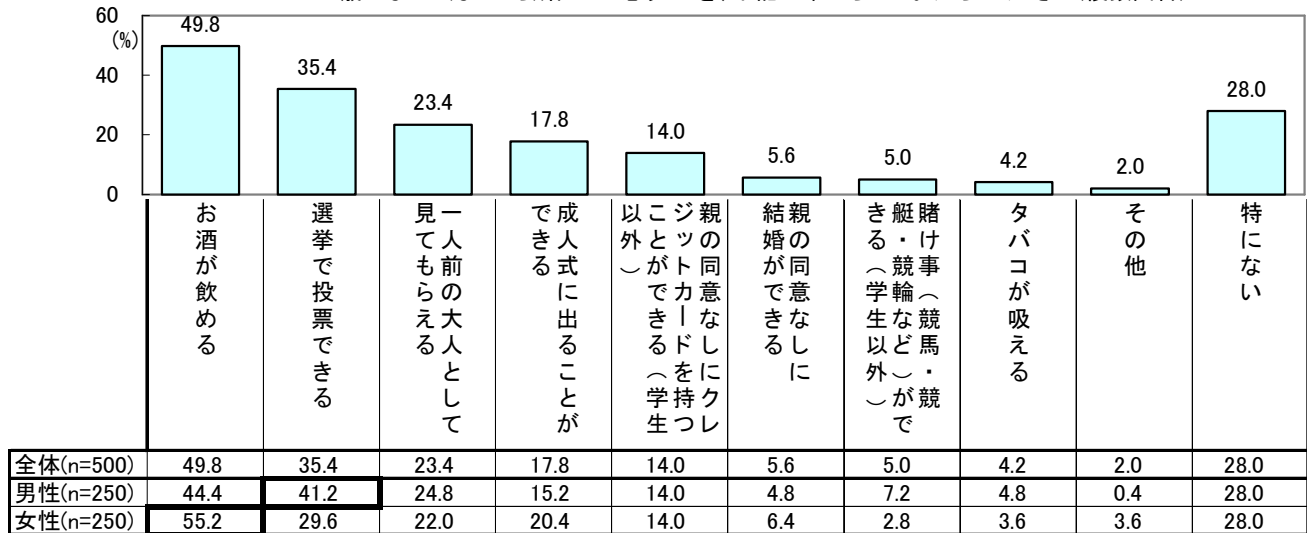
■20歳になって嬉しいと思うこと

1位「お酒が飲める」50%、2位「選挙で投票できる」35%

20歳になって嬉しいと思うことについて尋ねたところ、「お酒が飲める」が50%で最も多く、次いで「選挙で投票できる」が35%、「一人前の大人として見てもらえる」が23%となっています。

男女別にみると、女性では「お酒が飲める」が55%と男性に比べ11ポイント高く、男性では「選挙で投票できる」が41%と女性に比べ12ポイント高くなっています。【図24】

【図24】20歳になって(なったら)嬉しいこと
 Q.20歳になって(なったら)嬉しいと思うことを、下記の中から全てお知らせください(複数回答)



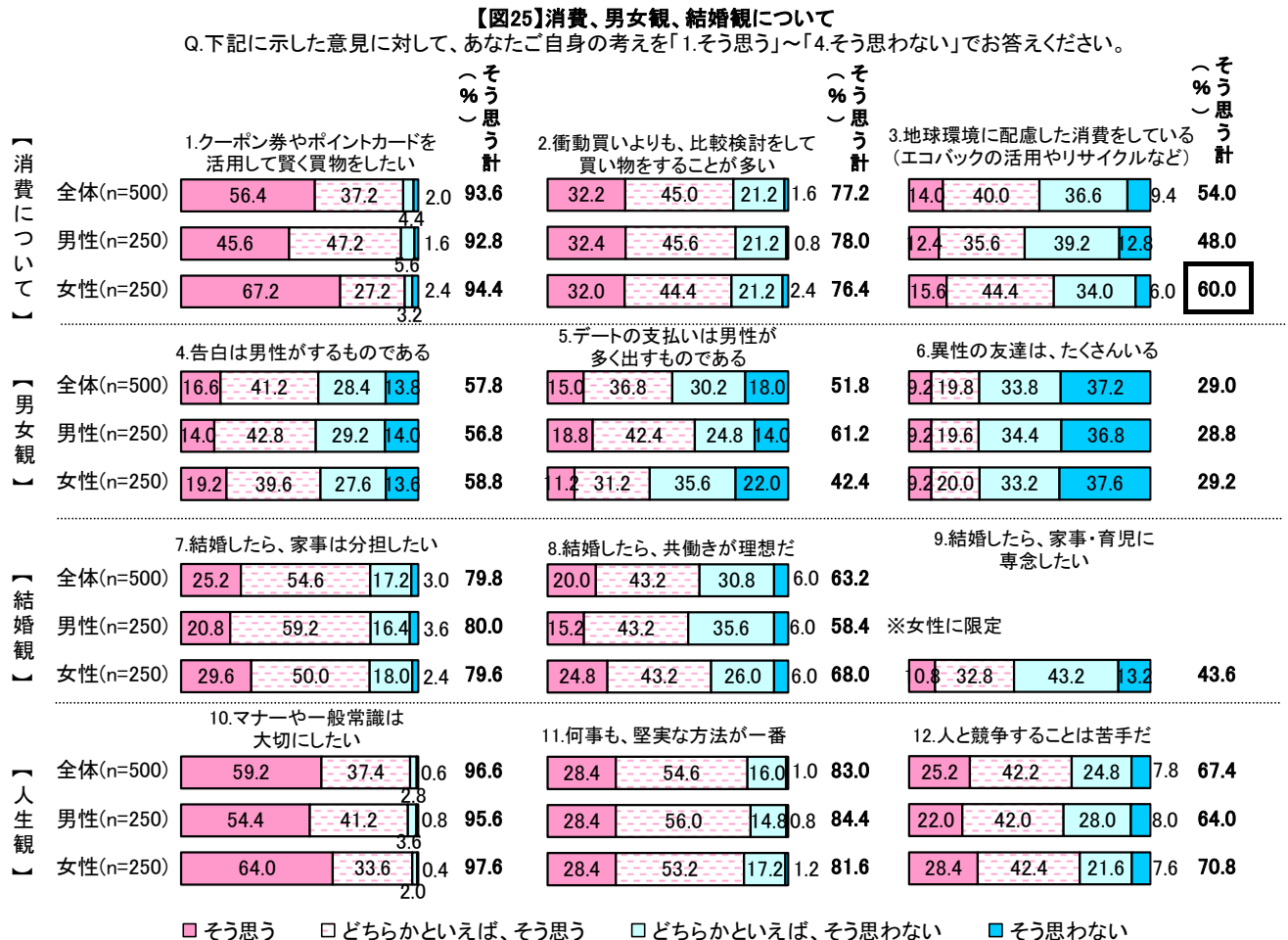
■ 男女とも8割が「結婚したら家事を分担したい」

消費、男女観、結婚観、人生観について尋ねました。「クーポン券やポイントカードを活用して賢く買物をしたい」と考える人は94%、「衝動買いよりも、比較検討をして買物をする人が多い」は77%と、男女とも堅実な消費行動が見受けられます。また、「地球環境を配慮した消費をしている」は54%と‘エコ・エシカル’な消費行動が見受けられ、男女別にみると特に女性でその傾向は強く見られます。

男女観において、「デートの支払いは男性が多く出すものである」「告白は男性がするものである」という考え方に対して、男性はいずれも6割程度の肯定的な態度に留まっています。

結婚観については、「結婚したら家事は分担したい」という考え方は男女とも8割を占めています。一方、「結婚したら共働きが理想だ」という考え方は女性が68%に対し、男性は58%に留まっています。女性は男性が希望しているより‘結婚しても働きたい’と思っているようです。

人生観については、ほぼ全員が「マナーや一般常識は大切にしたい」、8割強が「何事も、堅実な方法が一番」と考えています。また一方で、「人と競争することは苦手だ」と感じている人も7割弱を占めています。そう感じるのは、今年の新成人が少子化の時代を育ってきたことも一要因と推測できます。【図25】



【株式会社マクロミル 会社概要】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集める市場調査会社です。

国内100万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」、自社会場を活用したグループ・インタビューや会場調査などさまざまなリサーチサービスを展開しています。

- 社名 ■株式会社マクロミル
- 本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
- URL ■www.macromill.com
- 設立 ■2000年1月31日
- 資本金 ■16億4,849万円 ※2013年1月1日現在
- 上場取引所 ■東証一部 (証券コード: 3730)
- 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
- 従業員数 ■580名 ※2012年12月末現在
- 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報室：高橋
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

〈例〉「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

